

さいたま神さまっぶ 武蔵一宮 氷川神社

神社を巡る観光散歩にでかけませんか

H P「埼玉県の神社」では、この他にも、埼玉県内の神社を巡る観光散歩「さいたま神さまっぶ」として、様々なコースを紹介しています。行楽やウォーキングには、是非「さいたま神さまっぶ」を持って出かけ下さい。



①三の鳥居

一の鳥居から約2km続く氷川参道もこの参神は須佐之男命(すさのおのみこと)稲田姫命(いなこめのみこと)と境内だひめのみこと)大己貴命(おおなむちのみこと)が祀られています。この鳥居は、昭和9年、片倉製糸紡績株式会社の奉納。



②神楽殿・額殿

神楽殿では3月15日の郷神祭祭では、地元の大成神楽社中による神楽が奉納されます。額殿には、明治以降に行われていた太々神楽の奉納額や関流算額(複製)が飾られています。



③楼門(ろうもん)昭和15年に改築。行われます。



④宗像神社(むなかたじんじや)

祭神は多岐理比売命(たぎりひめのみこと)市寸島比売命(いちしまひめのみこと)田寸津比売命(たづひめのみこと)をお祀りしています。氷川神社の摂社です。弁天様。



⑤埼玉護国神社

(さいたまけんこくじんじや) 昭和9年(1934年)4月9日に「埼玉護国神社」として創建されました。鳥羽・伏見の戦い以後の国事に殉じた埼玉県の英霊五万一千余柱が祀られ、例大祭は4月9日に盛大に催されています。



④武蔵一宮 氷川神社 (むさしいちのみや ひかわじんじや)

社伝によると第5代孝昭天皇の3年4月末の日の創立と伝えられています。畿外では数少ない延喜式内の名神社に列し、月次・新嘗に神祇官より幣帛を受けました。明治元年(1868)10月28日に明治天皇が行幸され、以後も行幸・御親祭があり、武蔵国の鎮守勅祭の社と定められ、次いで明治4年には官幣大社に列せられました。昭和7年から15年にかけて本殿、拜殿、舞殿、楼門等が造営され、現在のような社殿配置になりました。毎年8月1日の例大祭には、皇室よりの勅使が御差遣され荘重厳肅な祭儀が行われます。また、武蔵国一宮として、武蔵国の中心的地位を占めた神社です。なお、当社を総本宮として、武蔵国内の元荒川と多摩川に挟まれた地域に広く勧請され、その数は280数社をかぞえます。主な祭りは、1月1日：歳旦祭、2月3日：節分祭、4月5・6・7日：鎮花祭、6月30日：大祓式、8月1日：例大祭、8月2日：神幸祭、12月10日：大湯祭。神札授与時間 8時30分～16時30分。



⑤舞殿(ぶでん)

舞殿では神事や雅楽・舞楽・神楽の奉納などが行われます。



⑥松尾神社(まつおじんじや)

祭神は大山咋命(おおやまくいのみこと)をお祀りしています。氷川神社の末社です。酒造、水の神。



⑦埼玉県立歴史と民俗の博物館

埼玉の文化を総合的に捉え、その変遷と発展を知るための歴史及び民俗資料等を展示しています。入館有料、午前9時～午後4時30分、月曜日(休日を除く)、年末年始は休み。



⑧門客人神社

(もんきやくじんじや) 祭神は足摩乳命(あしなづちのみこと)手摩乳命(てなづちのみこと)をお祀りしています。氷川神社の摂社です。旧男体社社殿。



⑨天津神社(あまつじんじや)

祭神は少彦名命(すくなひこなのみこと)をお祀りしています。氷川神社の摂社です。旧蔵王子宮社殿。



⑩日本庭園

午前8時30分～午後5時30分 平成5年に開設されました。明治から昭和初期に公園内にあった、料亭「石州楼」の庭園の椿「大居士(おおからこ)」があります。



⑪蛇松の跡(じゃまつのおと)

徳川家光公が当地で鷹狩りをされた際に、寵愛の鷹が行方不明となり、氷川神社に祈願したところ、この松の手に戻りました。蛇の鎌首に似た姿から「蛇松」と呼ばれました。「鷹止の松」。



⑬御嶽神社(みたけじんじや)

祭神は大己貴命(おおなむちのみこと)少彦名命(すくなひこなのみこと)をお祀りしています。氷川神社の末社。旧女体社社殿。



⑭稻荷神社(いなりじんじや)

祭神は倉稻魂命(うかのみたまのみこと)をお祀りしています。氷川神社の末社です。



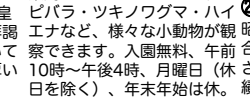
⑮さいたま市「土器の館」

さいたま市内の遺跡出土品の收藏と、最新の発掘調査資料を展示しています。入館無料、午前9時から午後4時、土日祝休。



⑯大宮公園小動物園

昭和28年開園。当時の北海道の埼玉県出身の開拓団から贈られた小熊がきっかけで開園。県鳥のシロコバトのほか、カピバラ・ツキノワグマ・ハイエナなど、様々な小動物が観察できます。入園無料、午前10時～午後4時、月曜日(休日を除く)、年末年始は休。



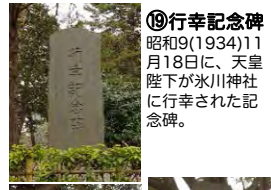
⑮六社(ろくしゃ)

6社の末社を祀り、左から住吉神社、祭神は底筒男命(そこつつのおのみこと)中筒男命(なかつのおのみこと)上筒男命(うわつつのおのみこと)。神明神社、祭神は天照大御神(あまてらすおおみかみ)。山祇神社(やまみけじんじや)、祭神は大山祇命(おおよみかみのみこと)。愛宕神社、祭神は迦具土命(かぐつちのみこと)。雷神社(いかづちじんじや)、大雷命(おおいかづちのみこと)。土上神社(いそのかみじんじや)、布都御魂命(ふつのみたまのみこと)。



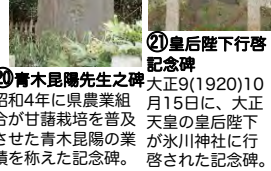
⑯黒塚山大黒院

(くろづかさん だいこくいん) 能の名曲「黒塚」は、奥州安達原を舞台に、熊野の山伏祐慶が鬼女を祈り伏せたお話しとして有名ですが、当地もその伝説地とされています。開門の日が多く、駐車場前から遙拝。



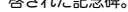
⑯行幸記念碑

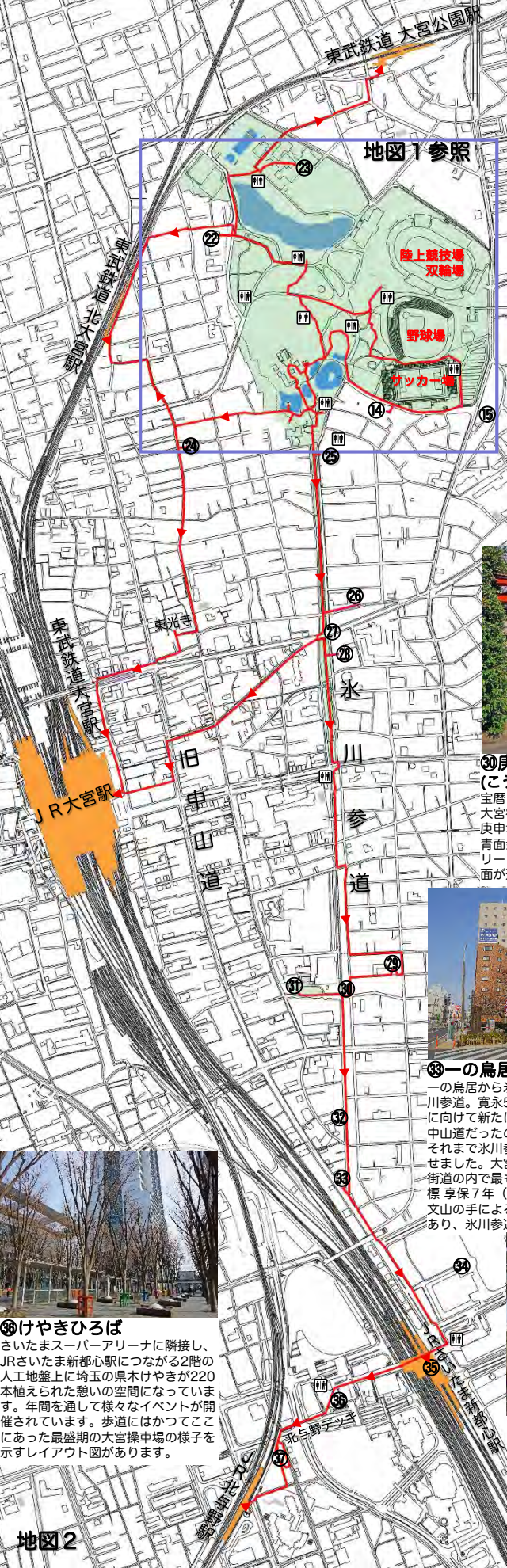
昭和9(1934)11月18日に、天皇陛下が氷川神社に行幸された記念碑。



⑯皇后陛下行啓記念碑

大正9(1920)10月15日に、正天皇の皇后陛下が氷川神社に行幸された記念碑。





地図1 参照

②稲荷神社(いなりじんじや)

祭神は倉稲魂命(うかのみたまのみこと)。土手町・宮町4丁目の人たちがお祀りしている神社です。3月初午の日に初午祭が行われます。地元では、多子稲荷神社(たこいなりじんじや)とも呼ばれています。

⑤勅使斎館(ちよくしさいかん)

氷川神社は明治天皇が明治元年に、遷都のあと当社を武蔵国鎮守とし、行幸して親祭されました。以後、8月1日の例祭には、天皇陛下が勅使を差遣、奉幣されます。その勅使が参籠される建物です。

⑧さいたま市立博物館

さいたま市に関する歴史・考古・民俗等の資料が展示されています。入館無料、午前9時から午後4時30分、月曜日(休日を除く)、休日の翌日、年末年始は休み。

⑦二の鳥居

かつては明治神宮の大鳥居として、日本最大級の木造鳥居でしたが、昭和41年の落雷による破損で解体されていたものを、昭和51年に明治神宮より譲り受けました。

⑨天満神社(てんまんじんじや)

祭神は菅原道真公(すがはらのみちざねこう)がわらのみちざねこう。氷川神社の末社です。学問の神様。

⑨浅間神社(せんげんじんじや)

浅間町の人たちがお祀りしている神社です。塚の上にある浅間神社の祠には、幕末・明治の政治家、山岡鉄舟の揮毫による明治18年(1885)建立の「浅間祠」の石碑が祀られています。毎年7月1日には、1年以内に生まれた子供の健康を祈って、額に御朱印を押してもらう「初山」の行事が行われます。



⑩庚申神社(こうしんじんじや)

宝暦10年(1760)1月に、大宮宿下町中で建立した庚申塔で、餓鬼を踏まえた青面金剛と三猿の像がレリーフされており、左右の面が道標になっています。

⑪山丸公園

「市民会館おおみや」に隣接した公園。かつてこの場所には信州須坂出身の個人経営の製糸家としては全国に並ぶものがないといわれた越 寿三郎が、明治40年に創立した山丸製糸工場がありました。公園内には、大宮駅の開設・甘藷組合の創立・日本鉄道材料工場(後の国鉄大宮工場)の誘致に尽力し大宮町長となった白井助七の顕彰碑と昭和44年まで国鉄大宮工場で使われていたC12型蒸気機関車が展示されています。

⑫稲荷神社(ならひめいなりじんじや)

数箇町の人たちがお祀りしている稲荷神社です。3月第1日曜日は初午祭が行われます。



⑬一の鳥居

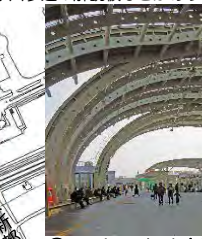
一の鳥居から氷川神社まで18丁(約2km)のまっすぐに伸びるのが氷川参道。寛永5年(1628)関東郡代の伊奈忠治が氷川参道入り口から北に向けて新たに道を開削して中山道を付け替えるまでは、氷川参道が中山道だったので、人家は参道両側に集中していました。それに伴いそれまで氷川参道の両側にあった民家を新しく設けた大宮宿に移転させました。大宮宿には本陣の他、脇本陣が9軒あり脇本陣の数では五街道の中で最も多くありました。参道入り口の「武蔵國一宮」の社号標 享保7年(1722)は、江戸時代中期を代表する書の大家・佐々木文山の手によるものです。一の鳥居の西側には「一の鳥居ひろば」があり、氷川参道の解説板などがあります。

⑭片倉製糸工場 大宮製糸所跡

さいたま新都心駅東側に広がる商業エリア「コクーンシティ」の場所には、大正5年(1918)から平成4年に移転するまで、片倉工業の大宮製糸所がありました。大宮周辺は、明治時代から繭から糸を紡ぐ製糸工場が幾つもあつた製糸の町でもありました。ちなみに片倉工業は世界遺産となった富岡製糸場を平成17年まで保存していました。「コクーン」というのは繭の意味で、製糸工場であつたことに由来しています。

⑮片倉製糸工場 大宮製糸所跡

さいたま新都心駅東側に広がる商業エリア「コクーンシティ」の場所には、大正5年(1918)から平成4年に移転するまで、片倉工業の大宮製糸所がありました。大宮周辺は、明治時代から繭から糸を紡ぐ製糸工場が幾つもあつた製糸の町でもありました。ちなみに片倉工業は世界遺産となった富岡製糸場を平成17年まで保存していました。「コクーン」というのは繭の意味で、製糸工場であつたことに由来しています。



⑯JRさいたま新都心駅

東北線・高崎線・京浜東北線の駅として平成12年に開業。大宮駅と与野駅の間には、かつて広大な敷地を持つ貨物専用の大宮操車場がありました。その廃止後の有効利用として、東京の機能の「新都心」となるべく企図されました。政府機関の関東地方を管轄とするほとんどの出発機関が設置され、埼玉の主要ビジネスエリアとなっています。自由通路は、日本産業デザイン振興会グッドデザイン賞を受賞。

⑰神明神社(しんめいじんじや)

祭神は天照大神。上落合の鎮守。当社の創建年代は不詳ですが、伝えによると伊勢参宮を行った村人が御師から御祓大麻を受け、これを当地に祀ったことによると伝えられています。氷川神社で8月2日に行う神幸祭と橋上祭に使用される小麦蒸で作られた鷹(こも)は、江戸時代から当社の氏子が奉納しています。

⑰神明神社(しんめいじんじや)

祭神は天照大神。上落合の鎮守。当社の創建年代は不詳ですが、伝えによると伊勢参宮を行った村人が御師から御祓大麻を受け、これを当地に祀ったことによると伝えられています。氷川神社で8月2日に行う神幸祭と橋上祭に使用される小麦蒸で作られた鷹(こも)は、江戸時代から当社の氏子が奉納しています。

⑮けやきひろば

さいたまスーパーアリーナに隣接し、JRさいたま新都心駅につながる2階の人工地盤上に埼玉の県木けやきが220本植えられた憩いの空間になっています。年間を通して様々なイベントが開催されています。歩道にはかつてここにあった最盛期の大宮操車場の様子を示すレイアウト図があります。

地図2